

施策分析シート（平成20年度）

No1

施策名	創業・起業の支援	施策No	05-03	部課名	産業経済部経営支援課		
関連部課名							
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[]					
	政策	活力ある地域経済づくり[05]					
目的	区内での創業・起業を促進するため、区内で開業しようとする起業家に対して各種支援策を実施し、産業の活性化を図る。						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (28年度)	
	創業支援融資実行件数	30	39	43	55	50	
	起業家支援塾受講者の開業率(%)	5	5	5	6	20	
現状と課題 (指標分析)	<p>景気の低迷や外国製品との競合等による売上高の減少、経営者の高齢化や後継者難等により、事業所数の減少傾向が続いている。一方で、区内での創業・起業は非常に少なく、産業の活力低下が懸念される。</p> <p>区内での創業・起業を促進し、産業活力の再生を図ることが必要である。</p> <p>(参考) 荒川区内での開業(新設)企業数 ・平成18年：1,825事業所(平成18年事業所・企業統計調査) ・平成16年：768事業所(平成16年事業所・企業統計調査〔簡易調査〕)</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>区内での創業しようとする起業家を対象とした「起業家支援塾」を一層充実していく。区内での創業・起業を支援することは重要であり、「西日暮里スタートアップオフィス(NSO)」入居企業の退去後の区内定着率も約60%と高いことから、平成22年3月までの暫定利用となっているNSOについて、その後継施設の整備を検討する必要がある。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	事業所数の減少傾向が続いている一方で、区内での創業・起業が非常に少ない現状を踏まえると、区内での創業・起業を支援することは、区内産業の活性化のためには極めて重要であり、当該施策の優先度は極めて高い。

施策分析シート（平成20年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		18年度	19年度	前年度設定	今年度設定	
起業家支援育成事業（起業・開業支援事業）	04-02-07	433	510	推進	推進	カリキュラム等の一層の質的向上を図る。
起業家支援育成事業（起業家支援育成事業（NSO））	04-02-08	2,832	3,130	重点的に推進	重点的に推進	専門家からの様々なアドバイスは創業間もない事業者にとって必要不可欠な支援策であり、区内産業の活性化のためには極めて重要。
創業支援施設管理費	04-02-09	8,292	8,445	重点的に推進	重点的に推進	創業支援施設の提供は創業間もない事業者にとって必要不可欠な支援策であり、区内産業の活性化のために極めて重要。
合 計		11,557	12,085			